

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子は全国の体力合計点を上回っており、特に長座体前屈及び反復横跳びは双方とも大きく上回っている。また、立ち幅跳び以外の全ての項目で全国平均を上回っており、動きを持続する能力が特に優れている。
- 女子は全国の体力合計点を上回っており、特に長座体前屈においては他の項目よりも上回っている。また、男子と同じく、立ち幅跳び以外の全ての項目で全国平均を上回っており、動きを持続する能力が特に優れている。
- 立ち幅跳びにおいて男子も女子も全国平均を下回っており、タイミング良く動き出す能力に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・体力テストの取組に向けての職員研修の実施。
- ・全校ドッジボール大会の開催等、運動に親しむ学校行事の開催。

②改善を図る点

- ・体育科の学習で、低学年「多様な動きを作る運動遊び」、高学年「体づくり運動」における「短なわとび」や「長なわとび」の充実を行い、タイミングよくすばやく動き出す能力の向上を図る。
- ・児童が前回の体力テストの結果を照らし合わせながら、次回の体力テストへの具体的な目標を設定する活動を仕組む。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・児童に自身の記録に関心をもつことができるように、タブレット等で競技の記録を確認できるようにする。
- ・児童会活動の委員会主催で、外での遊びを働きかけるような取組を実施する。